



JAB

認定・認証の移行

～ ISO/IEC 17021-1、ISO 9001・14001改訂～

2015年12月

公益財団法人 日本適合性認定協会(JAB)

認定センター

説明項目

I. ISO/IEC 17021-1 改訂

II. ISO 9001、ISO 14001 改訂

- 関連規格/文書の開発状況
- JAB対応状況
 - 認定の移行(移行における要点、移行審査の実施状況など)
 - これまでに受けた質問事項
 - その他

ISO/IEC 17021-1改訂について

JAB移行要領

- ISO/IEC 17021:2011からISO/IEC 17021-1:2015への認定の移行要領
 - 発行:2015年3月18日、改定:2015年5月26日
 - Information on the Transition of Management System Accreditation to ISO/IEC 17021-1:2015 from ISO/IEC 17021:2011 (IAF ID11:2015) (2015年3月10日発行)を参考に作成
 - 主な内容
 - 移行プロセス
 - 移行審査
 - 移行の決定
 - 新規申請の扱い

認定の移行審査の時期

- 移行審査(事務所審査)開始:2015年7月1日
- 審査期限が、2017年4月30日以前のサーベイランス／更新審査にて、通常計画されるプロセスに沿って実施を原則
- 認証機関の希望により、単独(臨時審査)での移行審査も可能

2015年版での主な改訂事項



- 規定の構成の見直し
 - 特に箇条9について、認証審査活動のプロセスに沿った形で再構成
- 公平性の確保
 - 公平性委員会の設置を必須要求としない(箇条6)
- 審査サイクル
 - 最初のサーベイランス:「第2段階審査の終了日」→「初回認証が決定された日」から12か月を超えない(9.1.3.3)
 - サーベイランス審査は、再認証の年以外は少なくとも暦年に1回実施(9.1.3.3)

これまでに受けた質問から

- 「サーベイランス審査は、再認証の年以外は少なくとも暦年に1回実施」(9.1.3.3)について
 - 本項の意図：業態によっては季節的な要因に左右されたり(製品が季節もの)、建設業の現場を見ることが出来るタイミングが限られているというようなこともある。適切なタイミングで審査ができるよう、暦年と幅をもたせた
 - ➔ 「再認証の年以外」とは、再認証を行う年以外のこと。再認証の場合、3年の有効期限内に行う必要があり、暦年という幅を持たせることはできない
 - ➔ 考え方：3年の周期の中で、定期的なサーベイランス審査が行われることが期待されている。CBが暦年の幅でタイミングを変えている場合、認定審査にて、その適切性を含めた確認を行う

移行審査の実施状況



事務所審査時期	件数 (調整中、未定分を除く)
2015年	8
2016年	30
2017年	1

* 認定の移行期限: 2017年6月

ISO 9001, ISO 14001改訂について

ISO 9001/14001改訂関連活動の経緯



年月	主な関連活動
2014年5月	DIS 9001発行
2014年6月	DIS 14001発行
2015年1月	JAB主催セミナー(第1回)開催
2015年3月	JAB移行要領発行
2015年7月	FDIS 9001/14001発行、 JAB主催セミナー(第2回)開催
2015年9月	ISO 9001/14001:2015発行、 JAB認定の移行審査の開始
2015年11月	JIS Q 9001/14001:2015発行

JAB移行要領



- ISO 9001:2015及びISO 14001:2015発行に伴うマネジメントシステム認証及び認定の移行要領
 - 発行、公表：2015年3月3日
 - Transition Planning Guidance for ISO 9001/14001:2015 (IAF ID9/10:2015) (2015年1月～2月発行)を参考にして作成
 - 主な内容
 - 認証、認定の移行
 - 認定・認証の移行期間 (IS発行後、3年間)
 - 認証の移行
 - 認定の移行プロセス
 - 認定の移行審査工数

セミナーの開催

- 第1回(2015年1月)
 - 附属書SL、9001/14001改訂の意図、背景について適切な理解を促すことを目的
 - DISをベースに、附属書SLの背景・概要・意図、ISO 9001・ISO 14001改訂概要について説明

- 第2回(2015年7月)
 - 改訂事項にかかる理解を深め、旧版との差分を適切に指導できる講師を養成することを目的
 - FDISをベースに、改訂事項の解説、認証審査における考え方の説明、質疑応答を実施
 - セミナー資料は、一部を除き、JABウェブサイトに掲載

これまでに受けた質問から

- ISO 9001/14001認証の有効期限の取り扱い
 - 2015年版発行(2015年9月15日)以降に初回認証/再認証された2008/2004年版の認証の有効期限は、2018年9月14日までとなる(3年未満の有効期限)
 - これらの認証は、移行期限内に適切に移行が行われた場合、有効期限を修正し、本来の3年の有効期限とすることができる。またその旨を認証書に記載してもよい

認定の移行審査(1/3)

- 移行審査(事務所審査)開始:2015年9月1日
- 移行審査の実施時期
 - サーベイランス／更新審査と同時期
 - 臨時審査(機関が希望する場合)
 - 17021-1移行審査と同時期でも可
- 移行審査のプロセス
 - 書類審査、事務所審査
 - 組織審査立会
 - QMS 及び／又はEMS 各1 件への立会い
 - QMS及びEMS を含む複合審査1 件への立会いは、移行審査においては各々1 件として算定
 - 2015年版に基づき行われる組織審査への立会いは、認定審査プログラム(認定周期)における立会い総数に含める

認定の移行審査(2/3)



□ 2015年版で重視される変化点

→ JIS解説のほか、JABセミナー資料に展開

代表的な例として、

- 事業プロセスへのMS要求事項の統合
- 組織の状況に基づくMSの計画・運用
- リーダーシップ、コミットメントの実証
- パフォーマンスベース(向上／改善に関する取り組み、仕組みへの展開)
- プロセスアプローチ、PDCAサイクル+リスクに基づく考え方

認定の移行審査(3/3)



□ 認定の移行審査の焦点、報告

移行審査では、認証機関の一貫した解釈、教育訓練、報告書や審査技法が焦点となる

- 認証機関は旧版から2015年版の変化点をどのようにとらえているか
- 変化点に対し、どのような対応をとっているか(例えば、審査員訓練、審査手順の改定、審査技法の変更など)
- 組織審査立会では、上記の成果が出ており、2015年版の意図を汲んだ審査が行われていると判断されたか

移行審査の実施状況



事務所審査時期	件数
2015年	19
2016年	22

* 認定の移行期限:2018年9月